

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 香川県 】

1 実践テーマ	【 I ・ III ・ V 】
2 実施対象者	三豊市立比地大小学校 全校児童 102名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育・道徳) ② 行事名 () ③ その他 (調べ学習) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	「オリンピック・パラリンピックの調べ学習」 児童はオリンピックという競技大会は知っているが、低中学年児童は、前回のオリンピックの時点では幼く、興味・関心が低く、大会の成果やその感動を味わってはいないと考えられるため、いろいろな機会を通してオリンピックやパラリンピックについて学ばせる。 「オリンピック・パラリンピックを通じた学び」 ほとんど知識がないと考えられるパラリンピックについて学ぶことにより、障害者理解や障害者スポーツの意義を理解する。そして、目標をもつこと、それに向かって努力し続けることの大切さを味わわせる。
5 取組内容	1 全校集会の校長講話でオリンピックやパラリンピックについて紹介し興味をもたせる。その後、4年生以上を対象に、オリンピック・パラリンピックの調べ学習を行い、理解を深める。 2 IOC 公式オリンピック競技（ディスクゴルフ）に取り組ませることにより、オリンピック・パラリンピックに親しみを感じさせる。 ・ 学級なかよしタイムの場で ・ 正課時体育の場で ・ 縦割り班活動の場で 3 卒業前の第3学期、6年生にDVD「夢に向かって」を視聴させ、パラリンピック理解学習を行うとともに、目標をもつこと、前向きに考えることの大切さを学ばせる。

6 主な成果	1 オリンピックやパラリンピックの調べ学習では、花形競技の調べ学習だけではなく、オリンピックやパラリンピックの歴史や意義、マークに込められた願いについて調べた児童も多かった。この活動を通して、児童のオリンピック・パラリンピックに対する理解が深まったと考える。 児童の調べ学習から  2 日頃、スポーツに消極的な児童もフライングディスクには意欲的に取り組み、スポーツへの関心を高めることができた。  3 DVD「夢に向かって」の視聴を通して、6年生は困難にも負けずに前向きに考え目標をもつことの大切さを学ぶことができた。 児童の感想（一部抜粋） ・ 副島さんは、とても不幸なはずなのに、この事故に遭わなければ、このような経験はできなかったとプラス思考です。だから新しい選手を育てられたと思います。 ・ 私も副島さんのように前向きな考えをし、夢に向かってあきらめずに生きようと思いました。 ・ 夢があるからがんばれるんだと思いました。私の夢は保育士になることです。その夢に向かって今できることをしたいです。
7実践において工夫した点（事業の特色）	1 児童の調べ学習がスムーズにできるように、参考となる書籍を早めに用意した。そして全校集会の1週間前から、その書籍を児童玄関に展示しておき、児童が自由に手にとって読むことができるようにした。 2 児童が休み時間に自由に使えるように、フライングディスクゴルフセットを運動場に設置しておく日を設けた。 3 6年生の卒業までのいろいろな行事や学びの中に、DVD「夢に向かって」視聴を取り入れた。

8主な課題等	1 今回は4年生以上を対象に調べ学習をさせたが、低学年児童にも何らかの方法で、オリンピックやパラリンピックについて調べる活動に取り組ませたい。 2 他の種目にも挑戦できる場を設定しなければならない。 3 6年生以外の児童にも、その学年の発達段階に応じた視聴覚資料を精選し活用しなければならない。
9来年度以降の実施予定	○ 今回は、オリンピックやパラリンピック全体についての調べ学習を行った。次年度は、学年ごとにテーマを絞って調べ学習に取り組ませたい。 テーマ案 高学年「オリンピックやパラリンピックの歴史・目的について」 中学年「オリンピックやパラリンピックの選手について」 低学年「オリンピックやパラリンピックの種目について」 ○ 児童が多様なスポーツを体験できる場も設定したい。